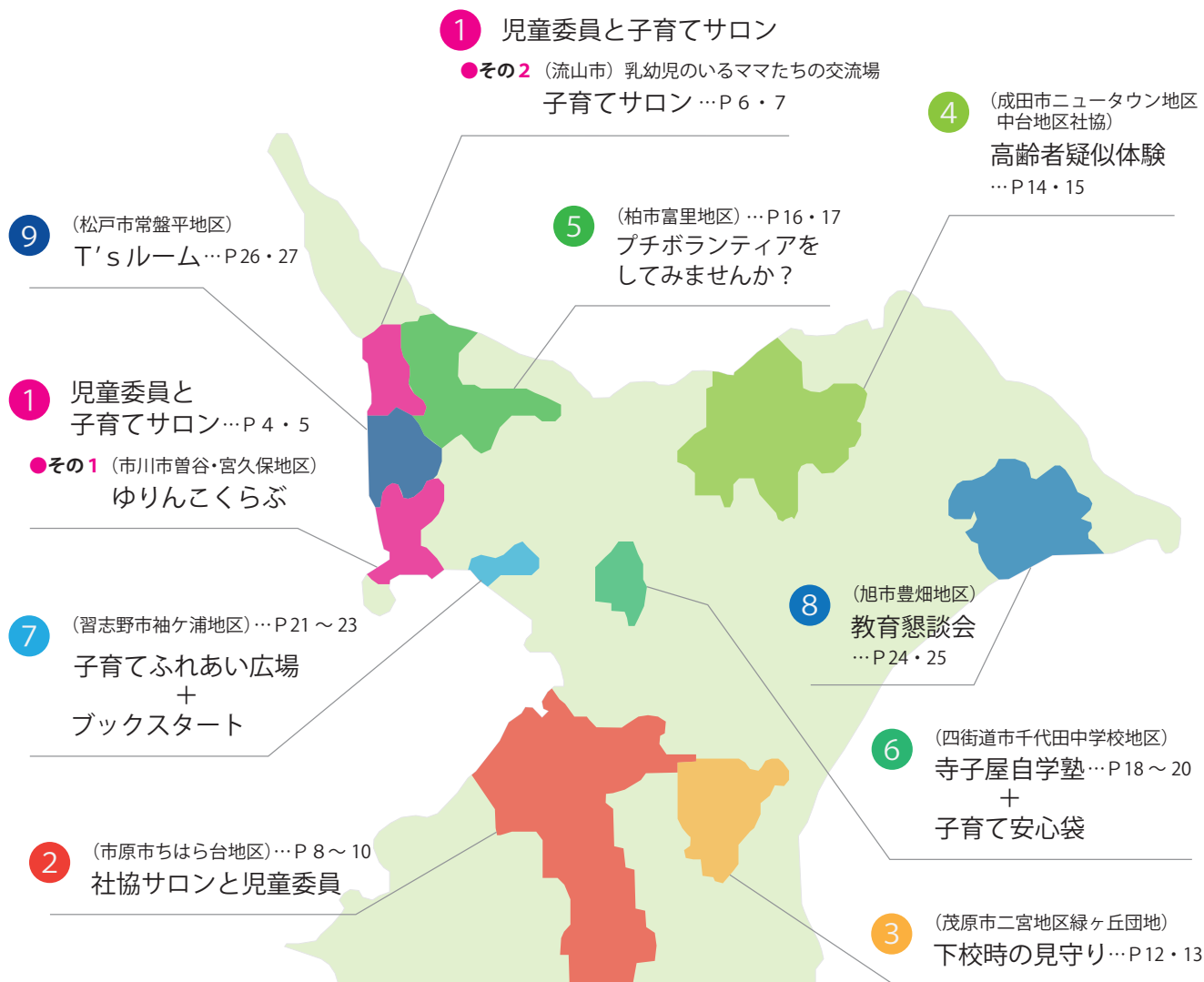


特集

児童委員活動 はじめての一步

ち ば 74
民 児 協
だ よ り
ひだまり合併号



1 特集 …… P 2 ~ 29 (取材記事は上記参照)

10 切れ目のない支援と児童
委員活動の基盤づくり …P 28・29

2 平成 28 年度事業報告・決算 …… P 30・31

3 平成 29 年度春・秋勲章・褒章 …… P 32
受章者・編集後記他

●参考 本誌とあわせて読みたい児童委員活動・関連冊子 …P 11

※本号では、原則「民生委員・児童委員、主任児童委員」を「児童委員」、「社会福祉協議会」を「社協」、「全国民生委員児童委員連合会」を「全民児連」と表記しています。また、本号で掲載する地図は、本会で作成した略図です。



特集

児童委員活動

はじめの 一歩

近年の少子化や近隣関係の希薄化のなかで、子どもや子育て世帯が抱える課題は多様化してきています。特に、児童虐待や子どもの貧困、いじめ、保育所不足などの社会的課題が指摘されており、子育て環境も含め、子育て世帯への支援に向けた取り組みが進められています。

本年4月1日には、「児童福祉法等の一部を改正する法律」が施行され、児童福祉法の理念や、国・県・市町村の役割を明確にしたほか、主に（市町村）妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を担う「子育て世代包括支援センター」の設置に関する努力義務や、（市町村）「要保護児童対策地域協議会」の機能強化のための専門職の配置、児童相談所の専門性の強化などが盛り込まれています。

こうした中、民生委員・児童委員や主任児童委員（以下、「児童委員」という。）には、子どもや子育て世帯を地域で見守る・応援する環境づくりや、課題を抱える世帯を早期に発見し支援へとつないでいく役割などが期待されています。

現在、県内53市町村328地区民児協

で取り組む活動は約1,850件（下記※）。このうち、子育て支援に関する活動は約315件。高齢者を対象とした活動の約915件に比べると、その数は3分の1程度に留まっています。

また、これまで区域担当の児童委員は、高齢者分野に関する活動の多さに加え、子育て支援活動への関わりづらさから消極的になっていることが実態調査などからも判っています。さらに言えば、「子育て支援に関することは、主任児童委員が行う」という地区民児協も見受けられます。

本号では、「児童委員活動 はじめの一歩」と題し、それぞれの取り組みごとに切り口を変えながら、写真を中心にご紹介します。

ぜひ、児童委員としての役割や立ち位置を踏まえ（第73号参照）、児童委員協議会として、また地域の身近な大人として、地域の未来を創る子どもたちのために「何ができるのか」、定例会で検討してみてください。

※市町村数・活動件数等は、政令指定都市である千葉市を除く。

※活動件数は、本会HP「あなたの街の民生委員活動」による。

地域住民の居場所や交流の場づくりを目的に、今ではどの市町村でも取り組まれている「サロン活動」。

平成28年3月現在、県内市町村社協及び地区社協で運営するサロン数は、1,195ヶ所（千葉市を除く）。このうち、高齢者向けが876、子育て向けが175、その他サロンが144ヶ所となっています（出典：「千葉県内市町村社会福祉協議会の概況」）。そして、その多くのサロンでは、児童委員が参加・協力しています。

児童委員と子育てサロン

一方、民児協主催の子育てサロンは、本会が把握する中では県内3ヶ所。市川市曾谷・宮久保地区民児協の「てるぼサロンゆりんこくらぶ」、流山市民児協・主任児童委員連絡会が主催する「ちよっとぼっとタイム」、最後に同民児協がこの6月末から開始した「乳幼児のいるママたちの交流場 子育てサロン」です。

近年は、子育て支援センターや児童館（自治体により名称は異なる）など、市町村行政が運営するサロン（幼児教室等も含む）も増えてきています。子育て世帯の居場所や友達づくりの場としての役割に加え、充

実した施設や、専門職への相談ができること、週5日以上開いているところもあるなど、公的機関が運営する強みもあります。

今後、こうした地域の拠点が増えていく中、社協や民児協が運営するサロンも、どのような目的を持ち、どのような特徴を備える必要があるのか。この点もあわせて考えていく必要があるかもしれません。

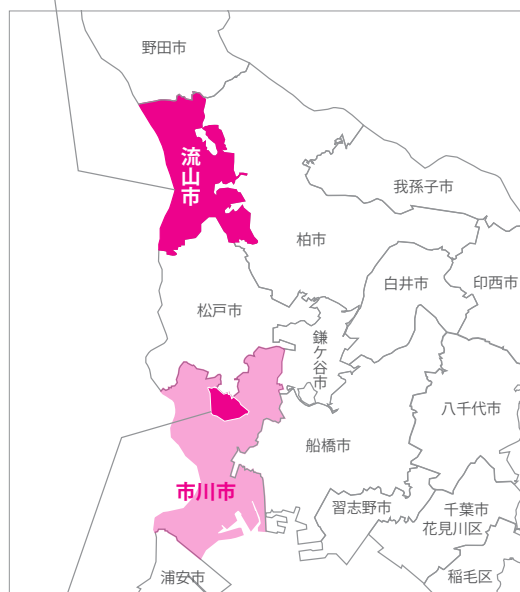
本稿では、児童委員が運営する市川市と流山市の子育てサロン、また次稿では主任児童委員が中心となって運営する市原市ちはら台地区社協の子育てサロン・広場のびのび「すまいる」をご紹介します。

1 はじめの一步

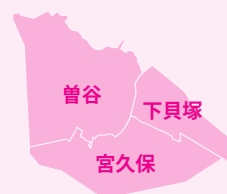
児童委員と子育てサロン

その2 流山市民児協

●人口：180,366人／●65歳以上高齢者：43,292人／●高齢者率：24.0％／●地区民児協数：8／●児童委員数：153人（男44・女109人）※平成28年12月現在



その1 市川市 曾谷・宮久保地区民児協



●人口：33,052人／●65歳以上高齢者：8,298人／●高齢者率：25.1％／●児童委員数：31人（男4・女27人）／●児童委員の関わる市社協サロン120ヶ所※平成29年10月現在



ゆりんこクラブスタッフの皆さん。前列左から、主任児童委員の鈴木さん、サロン責任者の日光さん、後藤会長、菅原さん。後列左から主任児童委員の濱口さん、読み聞かせボランティアの川辺さんと柏さん、児童委員の石原さん、石井さん。

① はじめの一步 その1

ゆりんこ くらぶ

市川市曾谷・宮久保
地区民児協

開催日 (いずれも 10:30～11:30)

- 曾谷山王会館 : 第1月曜日
- 宮久保自治会館 : 第3月曜日
- 下貝塚自治会館 : 第4水曜日



④お母さんが笑顔だと子どもも笑顔。一緒に行う手遊びは、コミュニケーションを取るには◎



③この日の工作は、紙コップと輪ゴムを使ったロケット作り。



①受付では参加者に名札を渡す。名札は、五十音順に袋分けしている。



④サロン最後には、「三匹の子ぶた」の人形劇。子ども達は興味津々。



④車座になって歌と手遊び。前方の黒板には歌の歌詞を掲示。



②ボランティアさんと主任児童委員による読み聞かせ。(3人各1冊)

■ (上記写真) 平成 29 年 7 月 26 日 (水)・下貝塚公民館

幼児教育において、本の読み聞かせは広く推奨されています。その効果は、①コミュニケーションをとることで親子の絆が深まる、②集中力や語彙が増え学習能力の向上、③想像力や知的好奇心が育つ点等が挙げられています。

ほかのサロンと異なるのは、自由遊びの時間がないこと。「発足当初より、絵本に親しむこと、親子で一緒に絵本の世界を楽しんでもらうことを目的としているんです」とは、曾谷・宮久保地区民児協の後藤会長。

プログラム (例)

- | | |
|---------------|------------|
| ～ 10:30 | ①受付 |
| 10:30 ～ 10:50 | ②読み聞かせ |
| 10:50 ～ 11:15 | ③工作 |
| 11:15 ～ 11:30 | ④手遊び・読み聞かせ |



● 受付名簿。「あいうえお」順にページ分け。



● 受付で渡す手作りの子ども用名札。

子育て世帯の「居場所づくり」と「本の読み聞かせ」を目的に、平成18年10月に開設された市川市曾谷・宮久保地区民児協の「ゆりんこくらぶ」。地区内3ヶ所(曾谷・宮久保・下貝塚)で、未就園児とその親を対象に、毎月各所1回、10時半～11時半の1時間開催し、参加費は無料です。プログラムは、およそ次の通り。

1 はじめの一步 児童委員と子育てサロン～その1 ゆりんくらぶ～

Ⅰ (写真上3枚) 平成 29 年 8 月 28 日 (月)・曾谷山王会館 (同下3枚) 平成 29 年 8 月 29 日 (火)・宮久保自治会館



絵本だけではなく、より絵が大きい紙芝居を使用することも。



家では家事に育児に忙しいお母さん達も、子どもだけに向き合える場では自然と笑顔に。



牛乳パックで作ったヨーヨー。マーカーで好きな新幹線の絵を描いてご満悦。



読み手が選ぶ絵本は、食べ物からおばけまでそのジャンルも様々。子ども以上にお母さん達が真剣に耳を傾けている!!



車座で行う手遊び歌も子ども達には人気。自然と中央で踊りだす子も (笑)



紙バックロケットを作成。普段家ではできない工作に、好奇心旺盛な子ども達は夢中。

このサロンで所有する絵本は、2百冊以上。購入したものもあれば、参加者や施設等からの寄付も多いそうです。毎回、会場の片隅には、この絵本の一部を貸出用に用意しています。

主任児童委員の鈴木さんは、「絵本にも季節があるんです。毎回、季節を感じられるものを用意するようにしています」と話します。

また、「読み聞かせだけだと、どうしても子ども達は飽きてしまうので、間に手遊びや歌、親子で簡単に作れる工作などをしていきます」とは、主任児童委員の濱口さん。その他にも、パネルシアターやエプロンシアター、人形劇などを行うことも。

毎月3回開催していると、経費面も気になるところ。サロン責任者の日光さんに伺うと、「行政や市社協から開催実績に基づき1回あたり3千円(年最大3万6千円)の助成金が出ています。そこから備品や絵本、会場の費用を捻出していますが、今のところ赤字にはなっていません(笑)」とのこと。

地域の子育て環境や社会資源を把握する児童委員だからこそできるサロン。曾谷・宮久保地区民児協は、ベビーカーを押して来られる身近な場所ので、絵本との出会いを紡ぐ場を提供しています。

取材3日間で行った手遊び歌と絵本

(手遊び歌)

●はなび／●ほたるこい／●村まつり／●グーチョキパー／●むすんでひらいて／●げんこつ山のたぬきさん／●まつぼっくり／●大きな栗の木の下で／●あんたがたどこさ

(絵本)

●ぴかくんめをまわす／●すいかのたね／●あめふりあつくん／●ハンバーガーチョキパー／●おむすびくん／●ねえどっちが好き?／●おかしなおかし／●まあちゃんのながいかみ／●おばあさんとマリーちゃん／●ぼんちやんのどろろんば／●もりのおばけ／●むつごのこぶたのさかなつり

(工作)

●紙コップロケット／●牛乳パックでヨーヨー



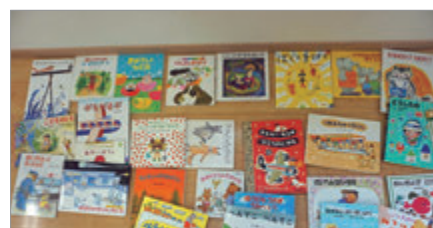
歌や手遊びの歌詞を掲示。



絵本の貸出は、サロン終了後。貸出冊数の制限と返却期限は設けていない。



貸出ノートに、タイトル・保護者名・住所・電話・貸出日を記載。



毎回、会場端には貸出用絵本が 30 冊ほど置かれている。並ぶ絵本は月替わりで用意。



南流山中学校地区民児協と常盤松中学校地区民児協等のみなさん。

① はじめの一步 その2

乳幼児のいる
ママたちの交流場

子育てサロン

流山市民児協

取材：平成 29 年 9 月 14 日（木）
参考：流山市・市社協・市生涯学習センター
・千葉県・厚生労働省 HP 他

三者の特性を活かしたサロンを開設

流山市は、都心まで約 20 分という利便性や住環境の良さから、この 10 年、若い世代を中心に居住者が増加。人口は約 3 万人増、合計特殊出生率も（H19 年）1.27 から（H28 年）1.57 と大幅な伸びをみせています。

この 6 月末、同市で新たに子育てサロンが開設されたのも、つくばエクスプレス「流山セントラルパーク」駅が新設された後、子育て世帯が急増した地域の一つです。

会場となる市生涯学習センターは、駅から徒歩 3 分ほど。周辺は、戸建住宅の建設ラッシュが続く一方、「都心から一番近い森のまち」を標榜する流山市らしく、市総合運動公園や雑木林、田畑なども多い自然豊かな地域でもあり、よい子育て環境が整っています。

ただ、そうした世帯が気軽に立ち寄ることができる・交流ができる拠点が少ないとの声を受けて、センターからの呼びかけに応じる形で、本年 3 月から市社協と市民児協の三者で協議を進めてきました。

この結果、初年度は年 4 回の開催、時間は 10 ～ 11 時半とし、どのくらいのニーズがあるのか把握できるまでは予約制としました。

大野トシ子・市民児協会長は、「すでに主任児童委員連絡会で子育てサロンを開催しているのに、委員一人ひとりが子育て支援に関わりを持ってもらうためにも、市民児協として参画し、各回 2 地区民児協が当番となって



③同地区に住む母親同士、買物場所や公園、保育園等の情報交換をしている参加者も。



③約 35 分間のフリータイム。



①受付後、名前の書かれた緑のマジックテープを腕などに貼付。



③会場隅には、絵本コーナーも。



③児童委員は子どものお世話に専念。子どもは生後 10 か月頃の乳児が多い。



②10 時からは車座になって自己紹介タイム。親子の名前や居住地区などを 1 組ずつ。

※写真キャプションの①～⑤の表記は、左上プログラムと同一。

1 はじめの一步 児童委員と子育てサロン～その2 子育てサロン～

市主任児童委員連絡会主催

ちょっとぽっとタイム



- 主催 市主任児童委員連絡会
- 回数 年4回
- 場所 コミュニティプラザ和室
- 時間 10:00～11:30
- 対象 就学前の乳幼児（妊娠中の方も可）
- 参加費 100円
- スタッフ 15～16名
- 内容 ゲームやティータイム等を通じた交流の場を提供
- 開始年度 平成15年度

プログラム

- ～10:00 ①受付
- 10:00～10:20 ②自己紹介
- 10:20～10:55 ③フリータイム
- 10:55～11:10 ④レクリエーション
- 11:10～11:30 ⑤ティータイム

※当面は、1回40組を限度に事前予約制。
申込先は、市生涯学習センター。

流山市民児協は、三者それぞれの特性を活かした連携を進めています。児童委員の特性を活かした活動や、その関わり方について、地区民児協で一度検討してみてください。

流山市社協の直井次長からは、「こうした活動は動き出すまでが大変です。児童委員さんには、はじめの一步を踏み出すための動力となつてほしいと考えています。その動力となるだけの幅広い知識や、子育ての経験などもありますから」と期待する一方、軌道に乗ってきたらボランティアを募り、負担を軽減していきたいとも考えているようです。

市社協
●広報（参加募集方法等の周知）

市民児協
●人手（流山市の地区民児協数は8。各回2地区民児協が当番となり合同で運営。1地区民児協あたり5名程度。児童委員・主任児童委員問わず）

生涯学習センター（エルス）

●場所の提供

●備品類の提供（茶菓子ほか、オムツや絵本・遊具等）

●児童委員の交通費

主な役割分担

協力することになりました」とのこと。

子育てサロン（概要）

- 主催 市生涯学習センター・市民児協・市社協
- 回数・時間 年4回・10:00～11:30
- 開催場所 市生涯学習センター
- 対象 乳幼児
- 参加費 無料
- スタッフ 2地区民児協（10名程）

合計特殊出生率

15～49歳の年齢別出生率を合算したもので、1人の女性が生涯に産む子どもの推計人数を表す。全国平均は1.44、最も高いのは沖縄県の1.95、最も低いのは東京都の1.24。国は1.80を目標値とするが、当面1.42～1.44で推移する見通し。（出典）厚生労働省・県が発表した平成28年の人口動態統計



⑤ティータイム。会話を楽しんでもらうため、児童委員が乳児を預かる姿も。



④10時55分からはレクタイム。



⑤お茶やお菓子などは生涯学習センターが購入・用意。



④レクタイムは手遊び歌や絵本読み聞かせを。

広場のびのび「すまいる」(概要)

- 主催 ちはら台地区社協・児童支援部会
- 開催頻度 児童登校日(H28年度は182日開催)
- 開催場所 市原市立水の江小学校
- 開催時間 10時～12時30分
- 参加費用 無料
- スタッフ数 27名
- 参加者数 (H28年度) 延べ582組、679名
- 年間経費 (H28年度) 決算額113,878円

本稿で紹介するのは、市原市ちはら台地区社協・児童支援部会で開催する子育てサロン・広場のびのび「すまいる」です。市原市立水の江小学校の学童保育で使用する一室を会場に、平成22年より開始。児童登校日は、毎日開催しています。将来、自分の子どもが通うであろう小学校での開催は、参加することへの敷居も低いうえに、毎日開催しているので行きたい時だけ参加できる利点も。

このサロンが、どのように親子(未就園児とその保護者)の居場所や交流の場を提供しているのか、また毎日開催するために準備している備品や小物、スタッフ体制などについても紹介します。

- 会場** ●**看板** 入口は学校裏門。常設看板(写真左)と、開催日であることを示すスタッフ手造り看板(同右)も。



② はじめの一步

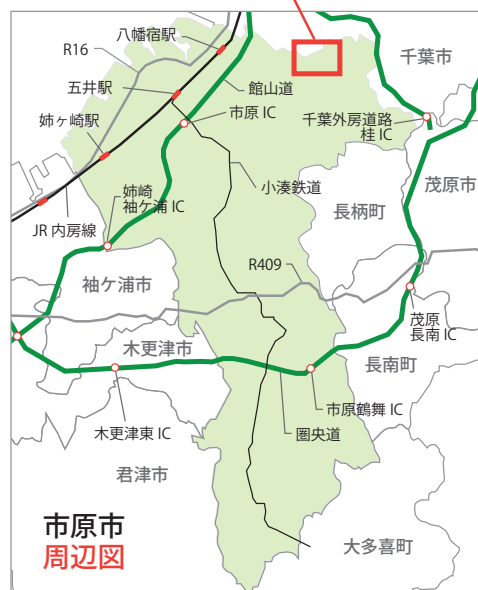
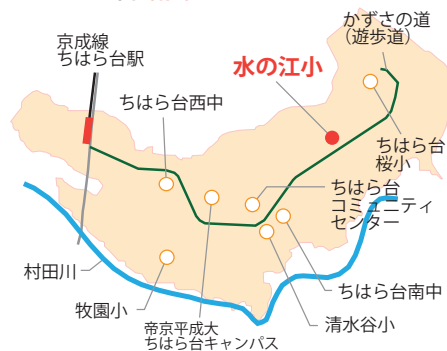
社協サロンと 児童委員

市原市ちはら台地区 ～水の江小学校～

ちはら台地区(民児協)の概要

- 人口 25,672人(うち高齢者 2,922人)
 - ／●高齢化率 11.4%／●児童委員数 26人(男6・女20人)
 - ／●担当区域: ちはら台全域／●水の江小学校の区域: ちはら台東1～3丁目、ちはら台東6丁目・7丁目の一部
 - ／●水の江小学校: 全児童数480人
- ※平成29年5月現在

ちはら台略図



●受付と備品

●「決まり」ごと・スタッフ

(写真左上) 下駄箱の上には、サロンの約束ごとを大きく掲示。同写真の右端に見える造花は、退任委員さんが毎月作成しサロンに彩りを加えている。「決まり」ごと横には、スタッフシフト表も掲示。スタッフは総勢 27 名。1 日 2 人体制を基本として、1 人当たり月 2 回程度担当。

●情報提供

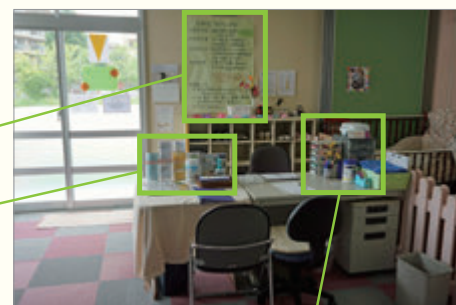
(同左下) 受付横には、同地区で開催されているその他サロンのチラシや、絵本の紹介なども。

●受付備品

(同右) 受付右手には、文房具などの備品が並ぶ他、受付時に参加者へ渡す名札収納ケースも。名札は、年齢別に色分けし名前を表記。



●サロンのアイドル
りこちゃん



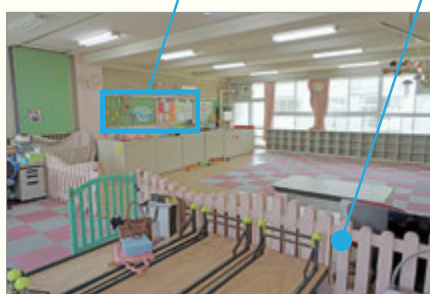
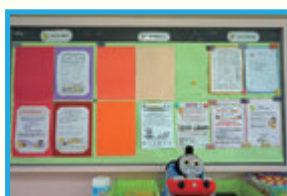
●遊具と掲示物

●情報提供

(写真上段左) サロンスペース左手の掲示板には、スタッフお手製の季節の飾り付けや、(同中央) サロン「すまいる」・「子育て支援センター」・「ちはら台子育て支援」情報を毎月掲示。

●安全柵

(同右) 入口には、カギ付き安全柵を設置。開設時にスタッフが作製。



●人気ナンバー 1 の遊具は、男女ともにおままごとセット。

●遊具

(写真下段左下) 入口左手にある 3 畳ほどの遊具収納スペース。車や知育グッズ、積み木、赤ちゃん人形など、その種類は豊富。参加者からの寄付が多く、購入したのは数点とのこと。

●絵本

(同中央) 壁際には、遊具用の収納棚のほか、絵本や育児本など約 300 冊が並ぶ。開設当初から図書の貸し出しを行っており、返却時の再来館にもつながっている。貸出時には、専用ノートに「氏名・住所・本の名前・貸出日」を記載。

●季節感のある飾りつけ

(同右) 入口右手には、学童用の黒板や棚の他、季節の花(サクラやヒマワリ)をあしらった折り紙を定期的に掲示。主任児童委員の河本さんお手製。